

1 研究主題

「生き生きと豊かに学び合う子の育成」

～活用力を高める算数科の授業づくりをめざして～

2 主題設定の理由

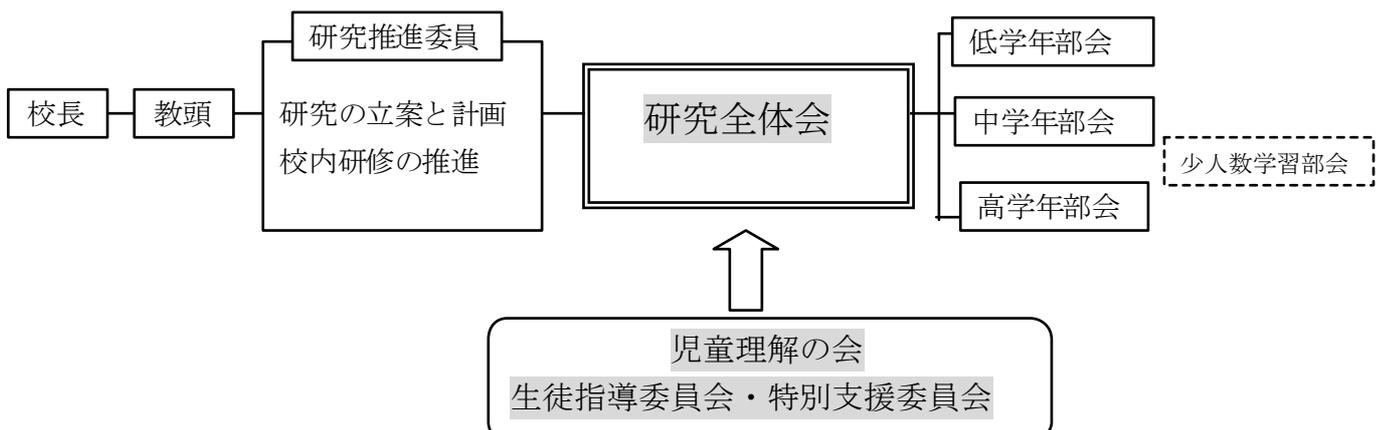
本校では、平成18年度より「生き生きと豊かに表現する子の育成～聞き上手・話し上手をめざして～」を研究主題として掲げ、国語科を通して研究を進めてきた。昨年度は、「話す・聞く」の単元から物語教材にも領域を広げ、「聞くこと」「話すこと」の内容が明確でより豊かになるようにと「書くこと」も取り入れながら、コミュニケーション能力の基礎・基本となる「話す力・聞く力」の向上をめざし研究を深めてきた。

今年度は、県の「活用力推進モデル校」の指定を受け、習得した知識・技能を次の学習や日常生活などの問題を解決する場面で活用する力を育てるため、学習内容の系統性がはっきりしている算数科を中心に研究を進めていくことにした。これまで積み上げてきた「聞き上手・話し上手」を育てる取組を継続しつつ、算数科における学び合いの場面で自分の考えを絵・図・式等を使って相手にわかりやすく論理的に伝える必要性を持たせながら、算数科における表現力の育成を図っていきたいと考えている。

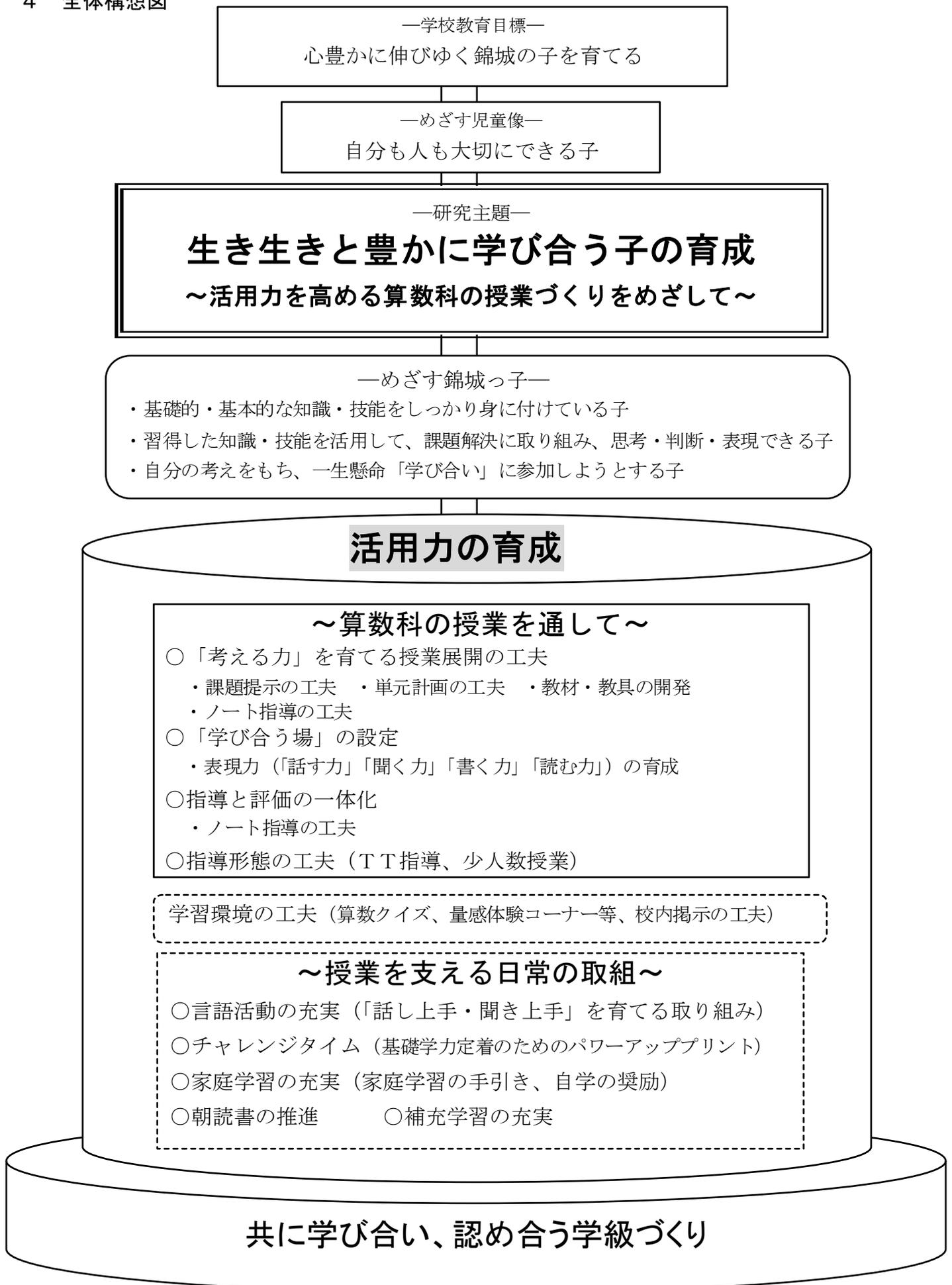
さらに、習得した知識や技能を次の学習や他教科の学習、さらに日常生活における課題を解決するために必要な活用力を高める授業づくりについて研究を進めていくことにした。そのための取組として、まず単元計画の中に「授業の中で活用されるべき既習事項」を明確に位置づけ単元全体を見通して活用力を高めるための課題をどう位置づけていくかを考えた。そして、児童の考える力を揺さぶるような教材開発や課題提示における発問の工夫等について授業研究を深めていきたい。

また日常的な取組としてこれまで取り組んできた朝読書やチャレンジ学習（帯タイム）についても見直しを図りながら継続し、家庭学習習慣化の「家庭学習の手引き」を配布して保護者の協力を呼びかけながら、児童一人ひとりに基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に付けさせたいと考えている。

3 研究組織



4 全体構想図



5 今年度の取組

(1) 活用力を高める算数科の授業づくり

① 「考える力」を育てる授業展開の工夫

ア 課題づくりの工夫

- ・児童の興味・関心を引きつける課題提示の工夫
- ・児童の生活に根ざした課題づくり
- ・既習事項を確認し、本時の課題解決の糸口とする工夫

イ 予想させる場面の設定

- ・学習の見通しをもたせる工夫

ウ 教材・教具の工夫

- ・児童の興味・関心をひく教材・教具の開発
- ・視聴覚機器の活用

エ 活用場面を意識した単元計画の作成

- ・既習の知識・技能の確認
- ・他教科や生活場面との関わり

② 「学び合う場」の設定

ア 算数的表現力の育成

- ・自分の考えの根拠となる既習の知識・技能を示しながら説明する力の育成
- ・「まず」「もしも」「たとえば」「言いかえると」・・・などの接続詞を使って説明する力の育成
- ・絵図や線分図、数直線、式などを使って自分の考えを説明する力の育成

イ 指導形態の工夫

- ・少人数指導の充実（習熟度別、T T、等質）

ウ ノート指導の工夫 →児童の思考の流れがわかるノートづくりを！

- ・児童の思考の流れがわかるノートづくりの取組
- ・自分の考えを整理し、学んだ結果を自分なりにまとめる算数日記の取組

(2) 授業を支える日常の取組

① 言語活動の充実 →表現力（「話す力」「聞く力」「書く力」「読む力」）の育成

ア 「聞き上手」「話し上手」を育てるための各学年の取り組み

- ・聞き方㊤㊦㊧㊨㊩, 話し方㊪㊫㊬㊭㊮, 各学年に応じたスキル表の掲示と指導

イ 校長先生、掲示委員会児童による「今月の四字熟語」「今週のことわざ」の紹介

ウ 音読発表会の実施（詩や名文暗唱）

エ マイ辞書の取組（3年生以上）

② チャレンジタイムの充実

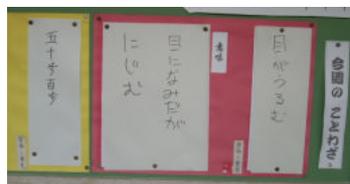
ア 基礎学力定着のためのチャレンジプリントの作成

- ・習熟度に応じた手立て

③ 家庭学習の充実

ア 家庭学習の手引きの作成・配布

イ 自学表彰状による児童の学習意欲の喚起



④ 朝読書の推進

⑤ 補充学習の充実

ア 担任及び少人数授業担当者による休み時間や放課後の個別指導

イ 夏季休業中における補充学習の実施

ウ 級外を中心とした補充学習の取り組み（毎週火曜日の放課後に実施）

⑥ 学習規律の確立

生徒指導委員会との連携し、全校あげて「共に学び合い、認め合う学級づくり」に取り組む体制づくり

(3) 学習環境の整備

① おもしろ算数コーナーの設置

ア 校長先生によるおもしろ問題の投げかけ

イ 各学年による量感体感コーナーの設置

ウ 算数パズルコーナーの設置

(4) 錦城中学校との連携

ア 研究授業の参観

「活用力」についての共通理解

